



# 桜井市議会議員 やすおき つちや靖起 士家

活動報告  
第56号

連絡先 633-0064 桜井市戒重57 電話0744・43・9288 FAX0744・43・9295  
メール tuchiya@seikatubunka.jp

## 市内小中学校 エアコン設置

# 全国水準より極めて低い数値 早急な予算編成を要望

桜井市議会の土家靖起は市議会9月定例会の一般質問に登壇し、全国の設置水準より極めて低い市立の小中学校などへのエアコン設置を急ぐ予算編成を要望しました。教育長からは「来年度中の早い時期に小中のすべての普通教室への整備を目指したい」との答弁がありました。松井市長は「10月にも国へ補助金の要望を行い、できるだけ市の持ち出しが少ない有利な事業手法を採用したい」との考えを明らかにし、設置を急ぐ考えを示しました。

### 土家

今年には猛暑の夏になったが、こつこつした中で心配されるのが熱中症。学校においてエアコンは贅沢品、必要ないものと考えられてきたと思われるが、もはやそうだった状況ではなく、全国では死亡者が出る案件も出ている。クーラーの設置を早急に検討してもらいたい。

### 教育長

議員お述べの通り、各学校にエアコンを設置していくことは、児童主体の身体への負担を軽減し、快適な学習環境の元で学習効果も上がると考えている。昨今の記録的な猛暑への熱中症対策としてもエアコンの整備は喫緊の課題。

急遽緊急的な措置として8月、エアコンの台数が少ない小学校4校には1台、もしくは2台を特別教室に設置した。中学校のすべての音楽室にエアコンを設置。また6月、8月で保育園2園に1台ずつ設置をした。

保育園、幼稚園、小中学校のすべての教室保育室にエアコンを設置して

いくのは、財政的に非常に厳しい。まずは来年度中の早い時期に全小中学校の普通教室への設置を目指して取り組んでいきたい。

### 土家

エアコンの設置率が極めて低い小学校、中学校の普通教室に設置するための費用はどれくらいを試算しているか。

### 教育長

普通教室への設置については、調査費用と設置費用を合わせた総事業費は5億4300万円。また特別教室は計2億6600万円の試算をしている。

### 土家

かなり大きな予算となるが、子どもたちの命を守る観点から必要な予算は何にも代えがたい。来年の夏まで設置完了に向け、国の補正予算を使いながら、市長はどのような考えでいるか。

### 市長

市の一般財源の支出を最小限に抑えるため、学校へのエアコン設置については、国や県

の補助を受けて行う。これら補助の内容をしっかりと見極めながら、財政的に最も有利な事業手法を採用し、早期に整備を進めていく考えている。

### 土家

今後の対応として、国、県の補助内容が判明次第、すぐに調査設計のための予算を確保していく。整備にかかる財源は国の「学校施設環境改善交付金」を活用する。

### 土家

今議会にも調査設計の予算は議案にない。来夏に間に合わないのではないか。早い時期に予算案を編成し、臨時議会を開く必要があるのではないか。来夏の締め切りに向け、いかに早い時期に予算の調整をするのか。

### 市長

10月にも国の方へ要望に行きたいと考えている。必要とあれば、一刻も早く整備を進める。

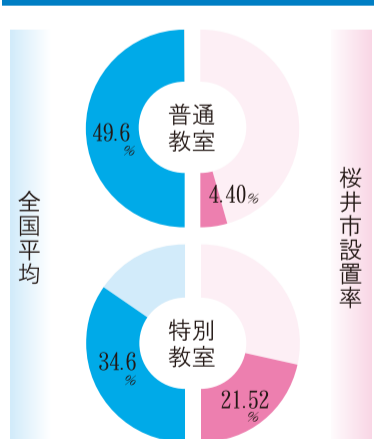
### 土家

来年の7月までには間に合わせるよう、最善の努力をお願いしたい。

### 桜井市内学校のエアコン設置状況

教室	整備済み数	設置率
<b>小学校 全11校</b>		
普通教室	8 (131教室中)	6.1
特別教室	36 (129教室中)	28.0
<b>中学校 全4校</b>		
普通教室	0 (51教室中)	0
特別教室	12 (94教室中)	12.8
<b>幼稚園 全5園</b>		
保育室	2 (16教室中)	12.5
特別教室	3 (11教室中)	27.3

### 市内小中学校合計の設置率と全国平均

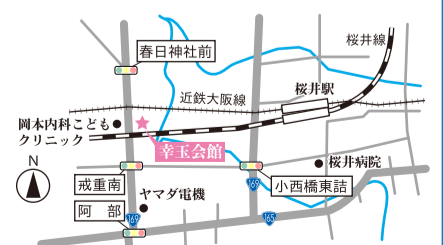


## つちや靖起 市政報告会開催

土家が今期に取り組んできた議会活動を皆さまにご報告させていただきます。たくさんの市民の皆さまのご参加をお待ちしています。



**時間** 平成30年11月25日(日) 午後1時30分から  
**場所** 幸玉会館 桜井市戒重209-34



# 市歌普及へ具体案示す

## 昼休みの庁舎、ごみ収集車で流すなど

桜井市には昭和57年に制定された市歌「万葉のふるさと」が歌詞参照IIがあり、市民に親しまれてきました。桜井の自然、歴史、文化をうまく表現し、メロディーとともに素晴らしい曲です。以前は市民の皆さまの耳に入る機会がありませんでしたが、近年では市庁舎のチャイムで鳴らされているくらいです。この市歌の普及について、市議会9月定例会で提案し、ごみ収集車で流すことなど具体案を示しました。

### 土家

市歌を昼休みの庁舎でフルバージョンで流したり、CD化して販売、ホームページでの紹介など、普及に努めてはどうか。

### 市長

市歌は風光明媚な方に浮かぶものであると私も感じている。しかしながら、1番から3番まである市歌を通して歌える市民がどれくらいおられるのかということになると、残念ながらそのような方はあまり多くないのではないかと思います。

**桜井市歌 万葉のふるさと**

高田直和 作詞  
梅谷忠洋 作曲・編曲

一、大和は国のまほろばと  
うたいつがれて 今もなお  
長い歴史の 流れの中で  
古代文化の 息づくところ  
あゝ桜井 万葉のふるさとよ

二、見上げる空は 茜さし  
けだかく匂う 山ざへら  
磐余 山の辺 光にもえて  
詩歌の心の あふれるところ  
あゝ桜井 万葉のふるさとよ

三、紫雲たなびく 大杉に  
夢もこたます 神の山  
木の香ただよう みどりの街に  
明日の希望が みなぎるところ  
あゝ桜井 万葉のふるさとよ

法で普及を検討していきたい。

### 土家

現在、市のごみ収集車では童謡の「赤とんぼ」が流れている。調べてみると全国では、地域の「ご当地ソング」を流しているところや、松山市、宝塚市、福井市、草加市などでは、市歌を流している。

ごみ収集時に流すメロディーを市歌「万葉のふるさと」に変更してはどうか。

### 市長

今の「赤とんぼ」が広く市民に周知されていることも事実。慎重に検討していきたい。

### 副市長

桜井市に対する愛情や郷土愛を育むことは大切。議員のご提案を検討しながら、積極的な活用に向けていきたい。

# 市に今後の計画の道筋を確認 「合葬墓」建立の検討提案

土家は、多死社会を迎える中、建設から45年を経過し、小規模で老朽化が進む桜井市火葬場を「最新鋭の設備への建て替えを昨年提案しましたが、今議会で、その後どのような道筋を計画しているか、一般質問を行いました。また「ゆりかごから墓場まで」という福祉の考えの下、多様化する家族の形のニーズに応え、行政の責任で「合葬墓」の建立の検討を提案しました。

### 土家

今後迎える多死社会の中で、火葬場の稼働力をどう維持させるのが課題になっている。小規模で老朽化が進み、他の会葬者との動線の配慮や長時間にわたる火葬など、市民の需要を十分に満たせていない。

昨年の9月市議会でもわたしは、早期に最新の設備を備えた火葬場への建て替えの検討を行う必要があるとの見解を示し、市長からは今後費用面や建て替えの条件などを考慮しながら、大規模改修か建て替えか、検討してい



建設から45年が経過し老朽化が進む桜井市火葬場。

### 市長

火葬場のセラミック化や改修工事の目的が立ったことを踏まえ、第5次総合計画の策定に当たっては、一定の成果があったものの、事業が進んだものについては計画に挙げていない。

### 市長

昨年9月の議会で私の質問に対し市長は「火葬場の建て替えは必要とされている」と答弁した。隣接する一般財団法人協谷公園墓地が土地の提供を申し出ている中、市にとって有益なことではないか。

### 市長

財団からの申し出は市にとって非常にありがたい話であると考えている。しかしながら火葬場の建て替えは財政面での準備が必要。今後、あらゆる選択肢を視野に入れながら考えたい。

### 市長

指摘のように、建設から45年が経過し、老朽化は否めない。定期的なメンテナンスを行い、不具合があった場合には早め、早めの修理をするなどの対応で火葬業務に支障が出ないように配慮している。

### 市長

桜井市の第4次総合計画では、墓地、火葬場の

### 市長

火葬場の建て替えも急がれるが、家族の形が多様化する中、市民が安心して利用でき、複数の遺骨を一つの墓やモニュメントに収める「合葬墓」について市長の考えは、

### 市長

家族が多様化する中、お墓や送り方、送られ方

## 子どもたちのために エアコン早期設置へ

市民の皆さまにおかれましては、土家靖起の議会活動に対し、格別のご理解を賜り厚く御礼申し上げます。今夏は猛暑に苦しめられました。市議会9月定例会で土家は、公立の保育園や幼稚園、小中学校へのエアコン早期設置を求め、一般質問を行いました。

全国では保育、教育の場で子どもの熱中症による死亡事故が報告される中、エアコンは、もはや贅品でなく、子どもの命を守り、より良い教育環境を提供するための必需品となっています。

設置には大きな財源が必要になるようですが、安全・安心、「日本一住みやすいまち」を目指し、設置が早期に実現することを願ってやみません。桜井市の未来を担う子どもたちのために。

(土家靖起後援会会長・勾田義浩)

### 土家

ゆりかごから墓場までという福祉の考え方がありますが、日本ではゆりかごから死ぬ前までが福祉の範疇とされがち。公平に用いられる合葬墓を行政の責任で確保してはどうか。また火葬場の建て替えと共に、合葬墓なども含め、PFIの手法で検討されることを要望する。

## 近畿運輸局と地域連携サポートプラン協定締結 公共市の今後の方針は

このほか、市議会9月定例会では、近畿運輸局と地域連携サポートプラン協定を締結した桜井市の公共交通の今後の方針について、市長の考えをたどりました。

市長からは「少子高齢化、人口減少の進展により、公共交通の利用者数は減少の一途。市では各地域の需要を勘案しながら再編に取り組みしてきた。今後は近畿運輸局と連携しながら、課題の解消を行い、効果的に効率的な運行に努めていきたい」と答弁がありました。

また副市長からは再編の方針とし

「現在のサービス水準を落とさず、持続可能な公共交通の運行を目指す」の答弁がありました。土家は、まちづくりと公共交通の一体的な取り組みを求めました。

## つちや靖起



**現職**  
桜井市議会議員  
桜井市ソフトボール協会顧問  
戒重区顧問  
桜井西地区社会福祉協議会会長  
NPO法人理事  
奈良県市町村職員年金者連盟桜井支部長  
市政に対する要望・ご意見・ご提言をお寄せ下さい。

**主な経歴**  
桜井市市長公室長  
平成15年桜井市議選初当選  
平成19年桜井市議選2選  
平成23年桜井市議選3選  
平成24年桜井市議選議長  
平成27年桜井市議選4選

メール tuchiya@seikatubunka.jp  
633-0064 桜井市戒重57 電話0744・43・9288